

# 組織風土改革コンサルティング

当社は、組織パフォーマンス向上、コンプライアンス強化、経営ビジョンの浸透など、組織風土に関わるさまざまなテーマに対応したオーダーメイド型コンサルティングを提供しています。

## 概要

組織風土は、近年活発化する組織再編や多様な人材・価値観・働き方への対応などを背景に、これまで以上に重要視されるテーマとなっています。本来、組織風土は長い時間をかけて積み上げられてきた意識や行動様式の集合体であり、一朝一夕には変わりません。しかし多くの企業では、即効性の高い施策が求められるため（結果が出ないとすぐに辞めてしまう）、企業・事業戦略や各種制度との整合を省みずに施策を乱発するといった失敗例が散見されます。

このような問題に対して、当社では「トップのコミットメント」「戦略-制度-風土の整合性」「ソフトアプローチとハードアプローチの併用」をキーワードに、組織風土改革を着実に前進させるコンサルティングサービスを提供します。

## 特徴

当社では、以下の3つを組織風土改革の要件としています。これら要件のどこに問題があるか／どこまで進捗しているかによって、支援内容は変わります。

まずは現状の徹底的なレビューから着手し、把握した課題に基づいて効果的な施策を提案していくことが、当社サービスの特徴です。

### 1 目的・ねらいの明確化とトップのコミットメント

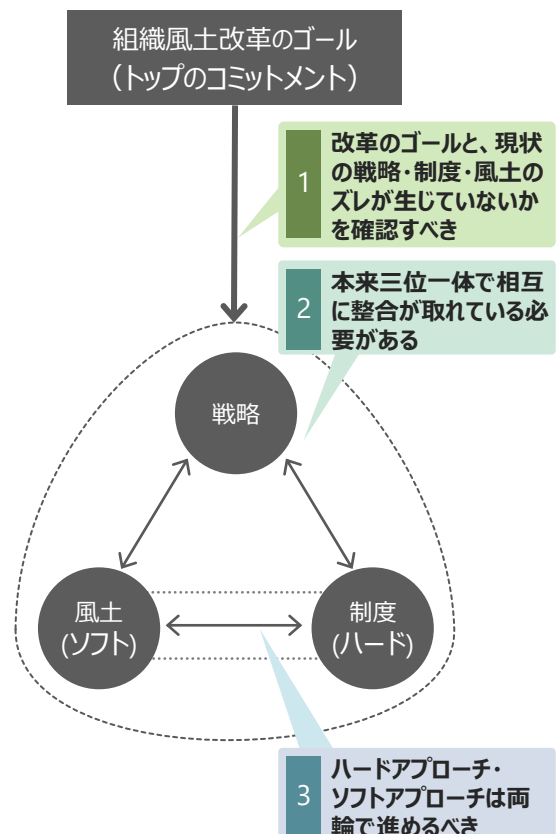
- まず、組織風土改革のゴール（会社をどのような組織にしていきたいのか）を経営層とすり合わせるが大前提である
- どのようなゴール設定をするかで、取り組むべき内容・優先順位が変わる

### 2 戦略-制度-風土の整合性確認

- まずは上記の改革のゴールすり合わせができていることを前提に、
  - ・組織風土改革のゴール（ビジョン）が戦略と整合しているか
  - ・戦略と制度（ハード）・風土（ソフト）が整合しているかなどを確認するところからスタートする必要がある
- しかし、組織風土改革を担当するプロジェクトチームや社員は、風土（ソフト）しか見ていないケースが多い

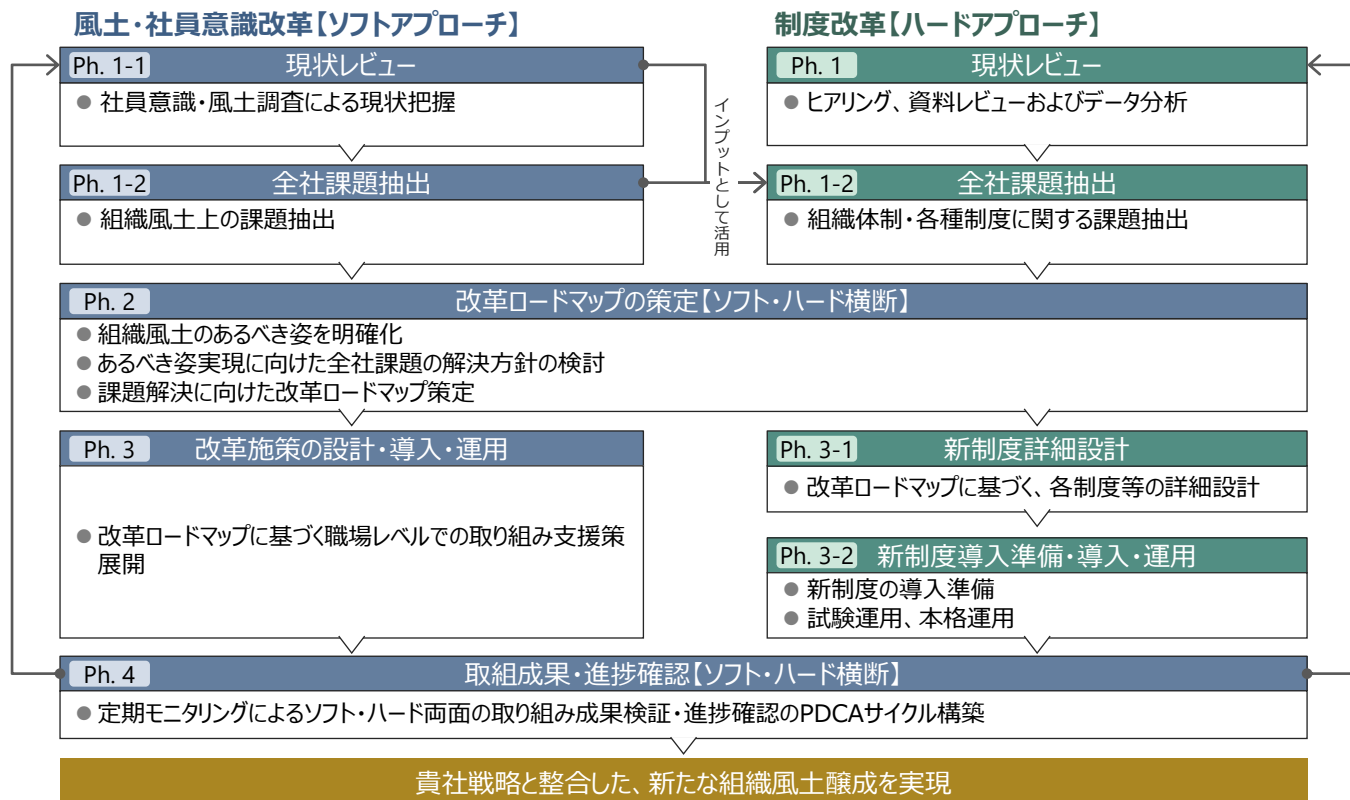
### 3 ソフトアプローチ・ハードアプローチの併用

- ハードアプローチ（制度を見直す施策）とソフトアプローチ（風土に働きかける施策）は両輪で進めるべきである
- 二つのアプローチを組み合わせ、相互のダイナミックな関係を築くことが重要である



## 組織風土改革に向けたソフト・ハードアプローチの全体像

ソフトアプローチ・ハードアプローチを併用し、貴社戦略と整合した、新たな組織風土醸成を実現します。



## 主なプロジェクト実績

- 開発力向上に向けた職場風土改革支援（メーカー）
- 現場力強化のための組織風土改革支援（メーカー）
- 従業員モラル向上に向けたマネジメント改革（メーカー）
- グループ経営強化に向けた組織風土診断（メーカー）
- 環境変化適応に向けた制度・風土改革支援（特殊法人）
- 経営ビジョンの浸透支援（メーカー）
- 顧客目線重視の組織風土への変革支援（メーカー）
- 安全重視文化の浸透・定着化支援（建設、エネルギー）
- 従業員モラル向上に向けたマネジメント改革（金融）
- コンプライアンス強化・組織活性化に向けた風土診断（建設）

お問合せ先

**株式会社 三菱総合研究所**

**MRI** 三菱総合研究所

営業本部 TEL : 03-6858-3493 Email : service@mri.co.jp

（担当 デジタルイノベーション部門 ビジネスコンサルティング本部 大内）

※無断での複写・複製・転記載及び第三者への開示を禁じます。